

閉館後のニフレルで、夜の生きものたちに出会う 夏休み限定イベント『夜にふれる』7月24日(金)スタート！

(株)海遊館が大阪府吹田市「EXPOCITY」で運営する、「生きているミュージアム『NIFREL(ニフレル)』」では、2026年7月24日(金)～26日(日)、7月31日(金)～8月7日(金)、8月17日(月)～23日(日)の計18日間、閉館後の館内を舞台にした夏休み限定イベント『夜にふれる』を開催いたします。



照明を落とした館内で、ホットスポットでくつろぐ「ワオキツネザル」



UV ライトに反応して発光する「チャグロサソリ」

本イベントでは、館内の音楽を切り、照明を落とすことで、昼間とは異なる静けさに包まれた展示空間を演出します。ゆらめく光に浮かび上がる水槽や、夜ならではの生きものたちの仕草、鳥たちのはばたきまで感じられる、「感性にふれる」体験をお楽しみいただけます。連日の厳しい暑さが続く夏休みに、全天候型の涼しく快適な館内でゆったりと夏の夜のひとときをお過ごしいただけます。

また、夜ならではの見どころとして、2026年3月18日(水)に誕生した新ゾーン「どくにふれる」では、“毒”をもつ「チャグロサソリ」が UV ライトに反応して発光する様子を特別に解説します。

さらに、巨大アート空間「ワンダーモーメンツ」では音楽をオフにし、球体とフロアに映し出される美しいアートと、“夜風”をイメージした自然由来のアロマの香りに包まれ、心地よいひとときをお過ごしいただけます。

来館者全員に、暗いところでほんのり光る「オリジナルリストバンド」をプレゼントします。

ニフレルでは本イベントを通して、昼間とは異なる生きものたちの魅力にふれながら、涼しい館内で夏の夜の特別な時間をお過ごしいただきたいと考えています。

イベントの概要と詳細は別紙をご参照ください。



【本件に関するお問合せは、下記までご連絡ください。】

(株)海遊館ニフレル事業部 PR・広報担当 西前、塩谷

TEL:06-6876-2204 (平日 9:00～17:30) MAIL: nifrel.pr@nifrel.jp

※本資料の提供先:大阪市政記者クラブ、及び弊社プレスリリース提供希望のメディア関係各社

<「夜にふれる」イベント概要>

開催期間:2026年7月24日(金)~26日(日)
7月31日(金)~8月7日(金)
8月17日(月)~23日(日)
計18日間

開催時間:閉館後の18:00~20:00(最終入館19:00)

※通常閉館は18:00

料 金:大人(高校生/16歳以上)2,400円、こども(小・中学生)1,200円、幼児(3歳以上)700円

参加方法:チケット販売サイト「アソビュー！」または「Webket」にて、「ニフレル 夜にふれる」専用チケットをお求めください。

※当日のニフレル入館券は「夜にふれる」の再入館にはご利用いただけません。

※ニフレル年間パスポート会員様は通常通りご入館いただけます。

対 象:年齢を問わず、お子さまからご年配の方まで、どなたでもお楽しみいただけます。

※夜間イベントのため、小学生のみでのご入館はできません。保護者の方の同伴をお願いいたします。



<イベント紹介動画>

「夜にふれる」のイメージ動画をご覧ください。



夜に活動的な「マタコミツオビアルマジロ」



館内の音楽を切り、照明を落とした空間の様子

<来館者全員プレゼント>



暗いところでほんのり光る「オリジナルリストバンド」

(イメージ)

《生きているミュージアム「NIFREL」施設概要》

- 【名 称】 NIFREL(ニフレル)(館長:村上 寛之)
- 【運営会社】 株式会社海遊館(大阪市港区、社長:濱元 博之)
- 【所 在 地】 吹田市千里万博公園 2-1 EXPOCITY 内
- 【営業時間】 平 日 10:00~18:00 (通常時)
土・日・祝および長期休暇期間、季節により変動
※いずれも最終入館は閉館の1時間前
※状況により変更する場合があります
- 【休 館 日】 年中無休
※年に2日間、設備点検のための臨時休館あり
- 【施設内容】 展示ゾーン:いろにふれる、どくにふれる(2026年3月18日誕生)、およぎにふれる、ワンダーモーメント、かくれるにふれる、みずべにふれる、うごきにふれる、つながりにふれる
合計 8 ゾーン
ピクニックカフェ「EAT EAT EAT」(200 m²・112 席)
ミュージアムショップ(NIFREL×NIFREL)
- 【交 通】 大阪モノレール「万博記念公園駅」徒歩 2 分
- 【駐 車 場】 約 4,100 台(EXPOCITY 全体用駐車場)



(以 上)